

行政評価(施策評価シート)

1 基本項目

基本目標3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策1	ともにつくる住みよい地域社会の実現
施策16	防犯
基本方針	行政、市民、事業者及びNPO法人等が連携した防犯体制を充実し、犯罪のないまちを目指します。

2 指標(長期総合計画目標指標)

指標名		現状	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	目標値 (平成28年度)
指標1	市内における犯罪発生件数	817件 (平成22年)	656件	775件	777件	598件		600件以下

3 施策を構成する事務事業の実施・評価結果

No	事業名	平成27年度実施結果			評価(所管課長)				指標に係る 重点事務事 業
		決算/円	執行率	進捗状況	妥当性	効率性	有効性	方向性	
1	羽村市防犯、交通安全及び火災予防推進計画の策定及び推進	176,500	91.0%	計画どおり完了	○	○	○	A	
2	街路灯の整備	37,148,436	92.5%	計画どおり完了	○	○	△	B	
3	市民防犯活動の支援	9,173,904	98.6%	計画どおり完了	○	○	○	A	*
4	防犯カメラ整備事業	1,735,665	93.3%	計画どおり完了	○	○	○	A	

4 施策評価

① 施策の評価

防犯体制の整備については、市民主体による防犯パトロールの団体などに対して、福生警察署、町内会・自治会、防犯協会と連携を行い、防犯体制の強化を図るとともに、防犯活動等の情報を提供し、支援を行った結果、指標1の市内における犯罪発生件数は大幅に減少した。引き続き、行政、市民、事業者及びNPO法人等が一体となった防犯活動の継続が必要である。

ハード面では、市民等からの情報提供に基づき、夜間に現地調査を実施し、特に交通安全及び防犯上必要な箇所にLED照明灯を6基設置した。また、羽村駅西口周辺及び小作駅西口周辺に防犯カメラをそれぞれ2台ずつ計4台を設置し、これまで設置した9台と合わせて13台のカメラを運用することで、駅周辺の犯罪の抑止効果に寄与した。

② 今後の方向性(改善への取組み等)

現在、犯罪などの手口が多様化している状況であるとともに犯罪防止に対する市民の関心・要望は高いことから、市民へ向け防犯に関する情報の発信を図り、犯罪が起こりにくい環境を整え、行政、市民、事業者等が連携し、一体となった防犯活動に向けた事業を推進していく必要がある。

また、市民等からの要望、情報提供により調査を行い、交通安全及び防犯対策を図るため、必要な箇所に街路灯を設置するとともに、防犯カメラについて、必要に応じて設置するなど、ハード面の充実を図っていく。

平成27年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	市民生活部			防災安全課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
1	羽村市防犯、交通安全及び火災予防推進計画の策定及び推進	不明	年 継続	自治事務	直営	
	01		年			
	02		年			
	03		年			
	04		年			
	05		年			
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	16	防犯	事業番号 1

2.事業の概要

事業内容	市民安全を取り巻く状況の変化に応じ、推進計画を見直します。
根拠法令	
条例	羽村市防犯、交通安全及び火災予防に関する条例
要綱等	

3.成果指標

成果目標	誰もが安全で安心して暮らせるまちの実現
------	---------------------

4.活動指標

Plan【計画】	平成26年度(現況)	3か年計画		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業内容 事業量等	防犯、交通安全及び火災予防推進会議 会議(3回) 推進計画(第三次)の策定 (計画年度平成27年度～平成29年度)	防犯、交通安全及び火災予防推進会議 委員の改選(任期2年) 会議(3回)	防犯、交通安全及び火災予防推進会議 会議(3回)	防犯、交通安全及び火災予防推進会議 委員の改選(任期2年) 会議(3回) 推進計画(第四次)の策定 (計画年度平成30年度～平成32年度)

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成26年度(現況)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	150H	1人	75H	1人	75H	1人	75H
主事・主任職	1人	200H	1人	90H	1人	90H	1人	90H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成26年度(現況)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	194	194	194	194
人件費(係長職)	752	378	378	378
人件費(主任・主事職)	726	324	324	324
総事業費(合計)	1,672	896	896	896
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	1,672	896	896	896
財源内訳(合計)	1,672	896	896	896

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果物 の出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

羽村市防犯、交通安全及び火災予防推進会議委員の改選を行うとともに、推進会議において、市民や事業者、関係機関等の推進員により、社会情勢の変化や市内における犯罪、交通事故、火災の状況の変化に対応した実効性のある計画の運用について、協議を行った。

②投入実績

決算の内訳 (単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	194,000	0	194,000	176,500	91.0%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
誰もが安全で安心して暮らせるまちの実現に向けて、平成24年4月1日に策定した「第二次羽村市防犯、交通安全及び火災予防を推進する計画」について、犯罪や交通事情など社会情勢の変化に対応し、これまで実施してきた事業結果を踏まえた「第三次羽村市防犯、交通安全及び火災予防を推進する計画」を作成した。	誰もが安全で安心して暮らせるまちの実現に向けて、羽村市防犯、交通安全及び火災予防推進会議で、計画に基づく生活安全の確保に関する様々な施策、危険薬物及び特殊詐欺の根絶に関わる基本協定の締結等を検討した。 また、「第三次羽村市防犯、交通安全及び火災予防を推進する計画」については、社会情勢に応じた軽微な変更を行い、推進計画の見直しを図った。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値
防犯、交通安全及び火災予防推進会議の開催	3回	3回

Check【評価】

8.評価

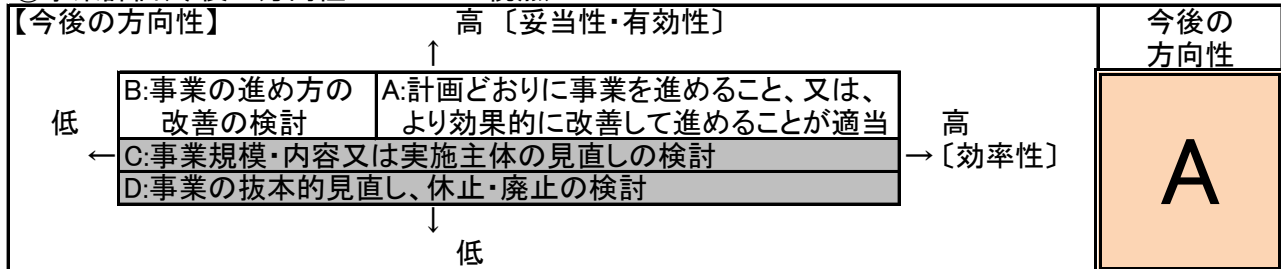
◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性(必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性(手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性(成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)



Action【改善】

事務事業から導かれる課題と今後の方向性

評価(所管課長)
平成26年度に策定された、「第3次羽村市防犯、交通安全及び火災予防を推進する計画」に基づき、市民が安全に安心して暮らせる環境を整備するとともに、平成29年度策定予定の「第4次計画」に向け、準備を進めていく。

平成27年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	建設部			土木課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
2	街路灯の整備	不明	年 継続	自治事務	業務委託(全部)	○
	01		年			
	02		年			
	03		年			
	04		年			
	05		年			
関連課	防災安全課					
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	16	防犯	事業番号 2

2.事業の概要

街路灯の計画的な点検・整備により、省エネ化を進めるとともに、犯罪の防止と交通の安全を図ります。

根拠法令

条例

要綱等

3.成果指標

維持管理経費と電気料金の削減を図ります。

4.活動指標

Plan【計画】	平成26年度(現況)	3か年計画		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業内容 事業量等	街路灯の補修・取替・設置	街路灯の補修・取替・設置	街路灯の補修・取替・設置	街路灯の補修・取替・設置
	LED照明灯 276基 ランプ交換 85灯	LED照明灯 345基	LED照明灯 590基	LED照明灯 615基

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成26年度(現況)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	8H	1人	8H	1人	8H	1人	8H
主事・主任職	3人	980H	3人	620H	3人	580H	3人	580H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成26年度(現況)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	49,220	38,743	62,760	65,505
人件費(係長職)	41	41	41	41
人件費(主任・主事職)	10,664	6,693	6,261	6,261
総事業費(合計)	59,925	45,477	69,062	71,807
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	233	700	700
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	10,000	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	49,925	45,244	68,362	71,107
財源内訳(合計)	59,925	45,477	69,062	71,807

③コスト計算

ア 市民 56,412 人における1人あたりのコストは、 806 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果物 の 出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

市民や防犯パトロール等からの連絡により、球切れ等440件の街路灯修繕を行った。
 整備計画に基づき、小作台地区及び栄町の一部の既設水銀灯及び蛍光灯303基について、LED照明へ取替えを行った。
 市民等から街路灯の設置要望のあった99箇所について夜間調査を実施し、特に交通安全及び防犯上必要な箇所にLED照明6基を新設した。

②投入実績

決算の内訳 (単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	38,743,000	1,438,000	40,181,000	37,148,436	92.5%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
市民等からの要望を踏まえ、夜間調査を実施し、交通安全及び防犯上、特に必要な箇所に街路灯を設置し、安全対策を図った。	既設水銀灯及び蛍光灯をLED照明に交換、及び街路灯の新設により、市内の交通安全及び防犯対策を図ることができた。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値
LED照明灯の設置	345基	303基

Check【評価】

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

8.評価

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	△

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】	高 [妥当性・有効性]	今後の方向性				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討	D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討	高 [効率性]	B
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当					
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討	D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討					
	低					

Action【改善】

事務事業から導かれる課題と今後の方向性

評価(所管課長)
街路灯の計画的な点検・整備を行い、歩行者、自転車及び自動車の夜間通行の安全・安心な道路利用と犯罪発生を抑止を図る。 また、LED化により維持管理経費と電気料金の削減を図る。

平成27年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	市民生活部			防災安全課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
3	市民防犯活動の支援	不明	年 継続	自治事務	業務委託(一部)	
	01		年			
	02		年			
	03		年			
	04		年			
	05		年			
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	16	防犯	事業番号 3

2.事業の概要

事業内容	市民主体によるパトロールなどの防犯活動を支援します。
根拠法令	
条例	羽村市防犯、交通安全及び火災予防に関する条例
要綱等	

3.成果指標

成果目標	市内における犯罪発生件数 平成28年度600件以下
------	---------------------------

4.活動指標

Plan【計画】	平成26年度(現況)	3か年計画		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業内容 事業量等	NPO法人市民パトロールセンターはむらによる、パトロールセンターの運営補助	NPO法人市民パトロールセンターはむらによる、パトロールセンターの運営補助	NPO法人市民パトロールセンターはむらによる、パトロールセンターの運営補助	NPO法人市民パトロールセンターはむらによる、パトロールセンターの運営補助

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成26年度(現況)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	60H	1人	60H	1人	100H	1人	60H
主事・主任職	1人	90H	1人	90H	1人	150H	1人	90H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成26年度(現況)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	9,381	9,301	9,466	9,301
人件費(係長職)	301	303	504	303
人件費(主任・主事職)	327	324	540	324
総事業費(合計)	10,009	9,928	10,510	9,928
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	10,009	9,928	10,510	9,928
財源内訳(合計)	10,009	9,928	10,510	9,928

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果物 の出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

NPO法人市民パトロールセンターはむらに対し、運営補助や自主財源の確保に向けて支援を行うとともに、犯罪発生状況等について、情報提供を行い、治安維持及び犯罪の抑止に向けた取り組みの強化を図った。

②投入実績

決算の内訳 (単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	9,301,000	0	9,301,000	9,173,904	98.6%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
市民防犯活動については、犯罪の撲滅及び防犯意識の高揚に向けて、NPO法人市民パトロールセンターはむらによる、新たに徒歩パトロールを実施し、防犯体制の強化を図った。	市民主体による防犯パトロールの団体などに対して、福生警察署、町内会・自治会、防犯協会と連携を行い、防犯体制の強化を図るとともに、防犯活動等の情報を提供し、支援を行った。 平成27年度の市内犯罪発生件数は598件で、前期基本計画最終年度(平成28年度)の目標を27年度において達成した。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値
市内における犯罪発生件数	(平成28年度) 600件以下	(平成27年度) 598件

Check【評価】

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

8.評価

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】		今後の方向性
高 [妥当性・有効性]		A
↑	高 [効率性]	
低	低	
低		

B:事業の進め方の改善の検討 A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当

C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討

Action【改善】

事務事業から導かれる課題と今後の方向性

評価(所管課長)
今後益々重要となってくる、市民防犯活動において、その中心的役割を担う「NPO法人市民パトロールセンターはむら」を支援するとともに、連携を強化し、他の各市民団体が活動しやすい環境を整えていく。

平成27年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	市民生活 部			防災安全課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
4	防犯カメラ整備事業の実施	平成 25 年	今年度限り	自治事務	業務委託(一部)	○
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	16	防犯	事業番号 4

2.事業の概要

事業内容 街頭における防犯対策の一環として、防犯カメラを設置し、犯罪が起こりにくい環境を創出することにより犯罪の抑止を図ります。

根拠法令

条例

要綱等 羽村市防犯カメラ設置運用要綱

3.成果指標

成果目標 市内における犯罪発生件数 平成28年度600件以下

4.活動指標

Plan【計画】	平成26年度(現況)	3か年計画		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業内容 事業量等	防犯カメラの拠点設置 (羽村駅東口4台)	防犯カメラの拠点設置 (羽村駅西口2台) (小作駅西口2台)	維持管理	維持管理

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成26年度(現況)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40H	1人	40H	0人	24H	0人	24H
主事・主任職	1人	80H	1人	120H	0人	72H	0人	72H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成26年度(現況)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	1,843	1,860	46	46
人件費(係長職)	201	202	0	0
人件費(主任・主事職)	291	432	0	0
総事業費(合計)	2,335	2,494	46	46
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	2,335	2,494	46	46
財源内訳(合計)	2,335	2,494	46	46

③コスト計算

ア 市民 56,412 人における1人あたりのコストは、 44 円
 イ 対象者 56,412 人における1人あたりのコストは、 44 円
 ウ 成果物 犯罪発生件数 の 出来高 における1 のコストは #DIV/0! 円
 ※ 対象者:

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

街頭における防犯対策の一環として、平成25年度からの3か年計画で羽村駅・小作駅周辺に防犯カメラを設置することで、犯罪が起こりにくい環境づくりを推進するとともに、犯罪が発生した場合の証拠として映像を提供を行い、犯罪の抑止と市民の防犯に対する意識の高揚を図った。
平成27年度においては、羽村駅西口の2台、小作駅西口に2台、合計4台を設置した。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	1,860,000	0	1,860,000	1,735,665	93.3%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
前年度は、防犯カメラの設置が小作駅東口周辺のみであったが、今年度は羽村駅東口周辺に防犯カメラを設置することで、羽村市内の駅周辺には防犯カメラが有ることを誰もが認識してもらい、見られているという意識づけを行うことで、犯罪の抑止効果につながった。	今年度は羽村駅西口と小作駅西口周辺に防犯カメラを設置することで、犯罪が起こりにくい環境づくりを行うとともに、市民への防犯に対する意識の高揚を図った。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値
犯罪発生件数	600件以下	598件

Check【評価】

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性(必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性(手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性(成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】		今後の方向性						
<p style="text-align: center;">高 [妥当性・有効性]</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 →</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">低</p>		B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 →		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		高 [効率性]
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当							
← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 →								
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討								
		A						

Action【改善】

事務事業から導かれる課題と今後の方向性

評価(所管課長)
防犯カメラ設置による犯罪抑止効果や犯人検挙率のアップなど、設置による効果があると認識している。今後は、その効率性や経済性等を考慮しつつ、防犯活動を推進していく。